

令和4年2月議会  
経済振興委員会報告資料

- 1 北崎地区活性化に向けた海づり公園リニューアルの検討状況について  
..... 1頁
- 2 鮮魚市場の機能更新・向上事業の検討状況について  
..... 6頁

農林水産局




# 1 北崎地区活性化に向けた海づり公園リニューアルの検討状況について

## 1. リニューアルの取組みについて

北崎地区は、農業と漁業がさかんな市街化調整区域内にあり、近年、高齢化・少子化が著しく、人口の減少に歯止めがかからない状況にある。

その北崎地区の活性化を図るため、海づり公園を地域の活性化や観光振興における拠点施設にするとともに、海づり公園の課題を解消すべくリニューアルを行う。



<p>◇海づり公園の課題</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●利便性<ul style="list-style-type: none"><li>・大型バス駐車場がない</li><li>・身障者駐車場が離れている</li><li>・トイレが利用しにくい</li><li>・荷物の積み降ろしスペースがない</li><li>・栈橋で公園・海浜が分断</li></ul></li><li>●安全性<ul style="list-style-type: none"><li>・歩行空間が狭い</li><li>・駐車場と施設が県道で分断</li></ul></li><li>●土地の有効活用<ul style="list-style-type: none"><li>・かき小屋は冬季のみ開業</li><li>・海側の駐車場が活用されていない</li></ul></li></ul>	 <p>荷物の積み降ろしスペースがない</p>  <p>栈橋で公園・海浜が分断</p>  <p>歩行空間が狭い</p>
---	--

## 2. これまでの整備と上位計画について

海づり公園は、昭和60年に開園以来、様々な事業をもって利用者の拡大等に努めているが、手狭となっていた海づり公園料金所の拡張やかき小屋、並びに各種イベント開催のための広場等の機能を充実させるため、海浜部の埋立てを行っている。（平成4年度～平成13年度）

また、「福岡市水産業総合計画」に掲げる『施設の更新にあわせて北崎地区活性化に資する検討を進める』に基づき整備を実施する。

### ○経緯

- ・昭和60年 : 海づり公園開園
- ・平成 4年度 : 海づり公園海浜部埋立て開始
- ・平成13年度 : 海づり公園海浜部埋立て完了

### ○上位計画

- ・「海岸事業5箇年計画」 ※海浜部の埋立て
- ・「福岡市水産業総合計画」

海浜部の埋立て前



## 3. Fukuoka East&West Coast プロジェクト

### Fukuoka East & West Coast プロジェクト

「Fukuoka East & West Coast プロジェクト」は、“Work Hard, Play More Hard” 仕事も遊びも全力になれるまちを目指し、この美しい志賀島・北崎地区の海辺の魅力をさらに高めていくことで、地域の観光振興・活性化を推進するもので、海辺を活かした観光振興の観点からも海づり公園のリニューアル事業に取り組んでいく。



- ・海づり公園は、上記プロジェクトの重要な施設と考えており、プロジェクトのコンセプトを踏まえて関係局と連携し取り組んでいく。

## 4. リニューアルの目標

### ◇Fukuoka West Coastの魅力をアピールする立寄り拠点

- 北崎地区を、気軽に楽しめる「おでかけスポット」としてさらに発展させる
- 対象層を広げ、誰でも気軽に楽しめる場とする
  - ・ファミリー、カップル、友人グループなど、多彩な層が楽しめる場とする
- 北崎の風土や歴史の魅力を伝える場とする
- 周辺他施設と役割を分担する

## 5. リニューアルのコンセプト

### ◇Fukuoka West Coastの一つの拠点として統一感を持つ

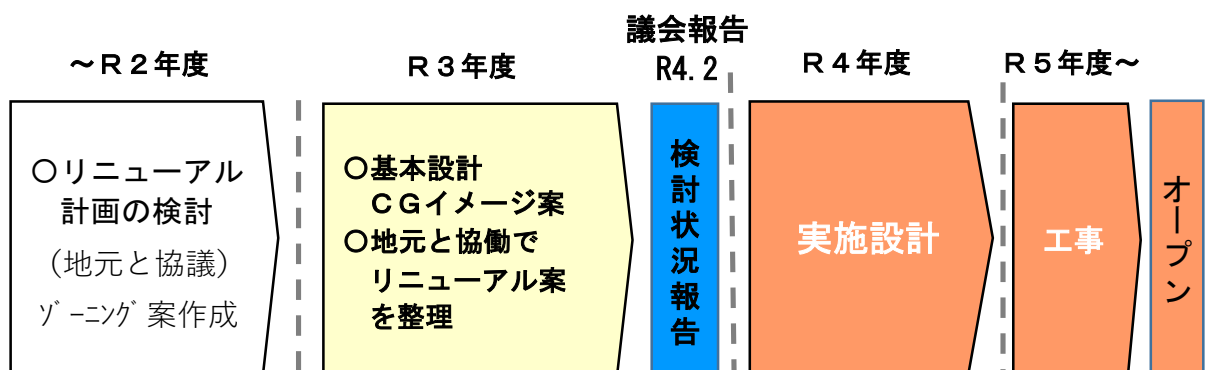
### ◇海との出会いを楽しむシーサイド・パーク

- 釣り主体の公園から、アウトドアライフも満喫できる公園へ
  - ・釣りだけでなく、海辺ならではの多様なアクティビティを体験できる場とする
  - ・「海づり公園」の名称変更やシンボルマーク作成について検討する
- 安全性・利便性の確保
  - ・バス乗入れや荷物の積み降ろしができるロータリーの整備
  - ・栈橋による分断の解消・料金所棟・トイレ等のリニューアル（木質化）

### ◇既設栈橋の安心安全の確保・有効活用

- アセットマネジメントによる栈橋の延命化（今回のリニューアルと並行）
  - ・予防保全工事
  - ・事後保全工事

## 6. スケジュール（案）





## 7. リニューアル（案）

※今後、民間からのアイデアを採用していく

活動・体験	対応する施設（例）
散策・憩い・子供の遊び	<ul style="list-style-type: none"> <li>海辺テラス、多目的ルーム</li> <li>海をモチーフにした「海の広場」</li> <li>フォトスポット</li> <li>シャワールーム</li> <li>親水空間</li> <li>ウッドデッキなど</li> </ul>
イベント	<ul style="list-style-type: none"> <li>キッチンカー等も営業可能なイベント広場</li> </ul>
釣り	<ul style="list-style-type: none"> <li>料金所棟・トイレのリニューアル</li> <li>木質化（地域産材利用）</li> </ul>
モビリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>オートキャンプ場</li> <li>サイクルスタンド</li> <li>立ち寄りコイン駐車場</li> </ul>
ドッグラン	<ul style="list-style-type: none"> <li>浜を活用</li> <li>足洗い場</li> <li>ベンチ</li> </ul>
食	<ul style="list-style-type: none"> <li>かき小屋</li> <li>キッチンカー</li> <li>バーベキュー</li> </ul>



料金所・海辺テラス・多目的ルーム等

イベント広場



ドッグラン



オートキャンプ



サイクルスタンド

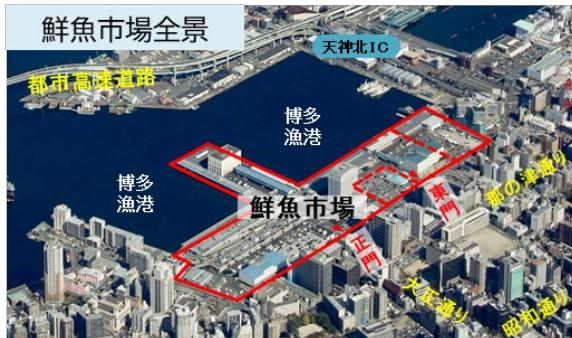
※リニューアル工事は、営業を継続しながら行う

余 白

## 2 鮮魚市場の機能更新・向上事業の検討状況について

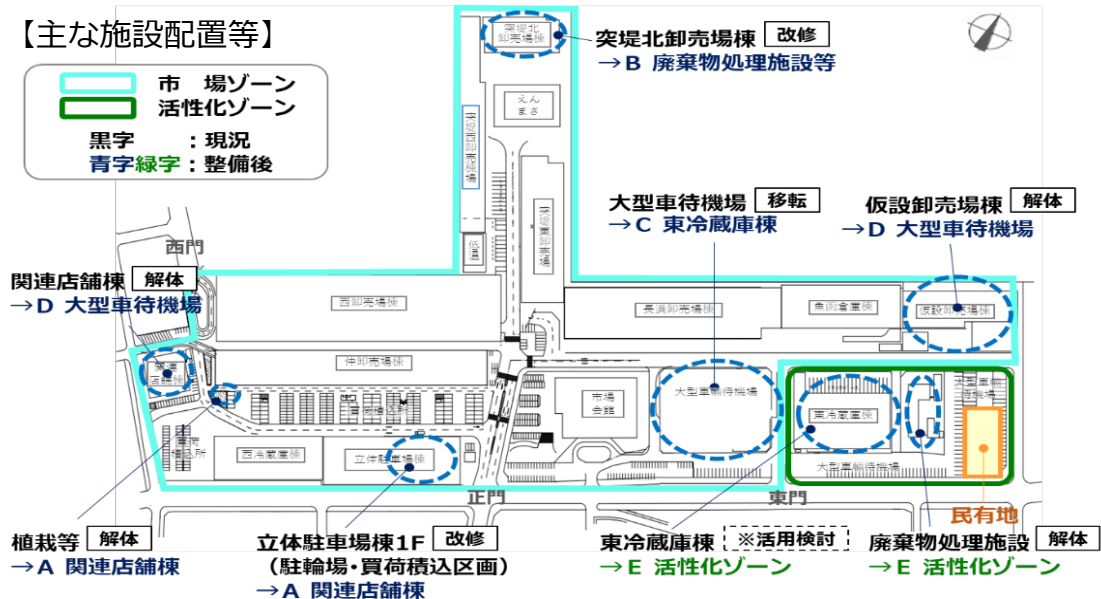
### 1. 鮮魚市場の機能更新・向上事業について

○鮮魚市場は、安全安心な生鮮食料品を安定的に市民に供給する役割を担っており、今後も市場機能を維持していくことを目的として、老朽化した市場施設などの整備や都心に近接した立地を活かし、魚食普及を推進し水産物の消費拡大に向けた取組みを進め、市場の更なる活性化を目指す。



#### ローリング計画(R3.2 議会報告)

○ローリングについては、市場内の老朽化した施設を再配置により整備し、併せて用地を整理することで、必要な事業用地を創出するなど、一連の繋がりをもって進める。

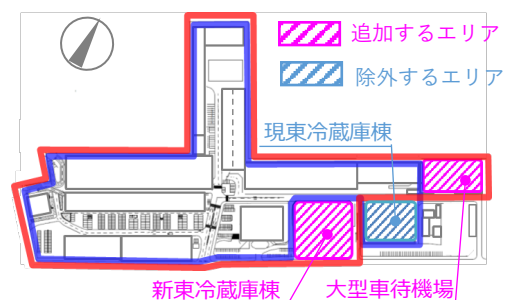


### 2. ローリングの状況

○令和3年度は、関連店舗棟 (A) や、廃棄物処理施設 (B) の移転先の整備等に着手するとともに、東冷蔵庫棟 (C) の移転建替えに向け、新たな冷蔵庫の整備方針等について国や市場関係者と協議した。

○令和4年度は、引き続き、大型車待機場の移転に伴う解体や駐車区画の整備等に取り組み、事業主と連携し東冷蔵庫棟 (C) の移転に着手する。  
また、東冷蔵庫整備にあたり、市場の区域の変更を行う。

#### 【市場区域変更の概要】



面積	約120,200㎡ (現況)	<span style="border: 1px solid blue; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>
	約133,300㎡ (変更案)	<span style="border: 1px solid red; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>

### 3. 東冷蔵庫棟の移転建替え

#### (1) 事業の目的や施設概要等

##### ①事業の目的

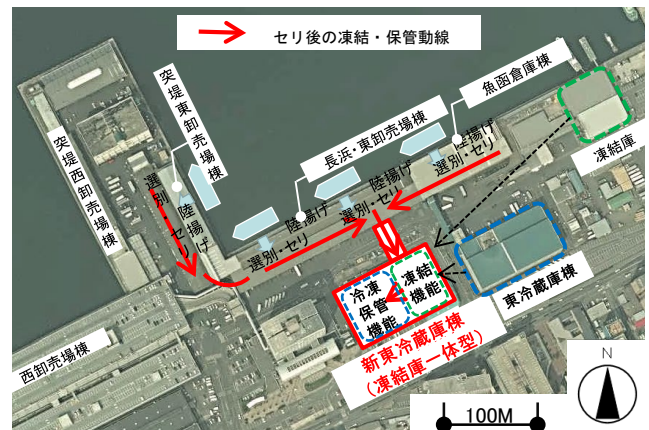
水産物の品質管理の向上や消費拡大を図り、集荷力を向上し安定した市場運営に繋げることで、魚価の安定や向上を実現し、地域水産業に貢献することを目的として、高度衛生の本格開始と冷蔵施設の更新期を捉え、今後の市場ニーズに対応できる冷蔵・冷凍施設の再整備に取り組む。

##### ②今後の市場のニーズへの対応

- ・ 冷凍需要に対応した保管容量の充実
- ・ 食中毒（アニサキス）対策や多品種・多用途に対応した食用凍結事業の充実
- ・ 小ロットで多品種の商品保管に対応した、細やかで効率的な出荷調整を可能とする保管形式や温度帯の充実

##### ③新たに整備する施設の概要【方針】

- ・ 延床面積 約 13,000 m<sup>2</sup> (2階建)
- ・ 冷蔵庫と凍結庫の一体型複合施設  
→ 市場内物流の効率化
- ・ 卸売場と屋根付き通路で接続  
→ 衛生管理の高度化
- ・ 保管容量約 4,300 t  
→ 電動式移動ラックの採用  
→ 保管容量の増加（約 1.6 倍）
- ・ 保管温度帯の増設（2種類→3種類）
- ・ 生食用の急速冷凍施設を新たに整備
- ・ 環境に配慮した自然冷媒の採用 など



#### (2) 事業スキーム

##### ①事業主体

- ・ 福岡冷蔵株式会社（市場内の冷蔵・冷凍事業を行う第1種関連事業者。卸売業者と仲卸組合が出資し、昭和47年に設立。）

##### ②事業費

- ・ 約 42 億円
- ・ 強い農業づくり総合支援交付金（補助率 1/3）を活用の上、残りの 1/2 を市が補助する。

##### ③事業スケジュール（予定）

- 令和4年度 実施設計、工事着手
- 令和5年度 工事
- 令和6年度 工事、夏頃の開業予定



## 4. 市場活性化の取組み

○魚食普及を通じた『長浜ブランドの構築・市場活力の維持』を目標に、都心に近接した立地や市場直結の強みを活かした活性化施設の整備等に向け、市場関係者と連携し、検討を進めている。

### (1) 先行事業（民有地中心に業界主体で事業化を検討）

- ・多種多様な魚種を扱う本市場の特性や、市場直結の強みを活かし、気軽に新鮮な魚に触れることができる、市民の新たな魚食普及スポットを目指す。

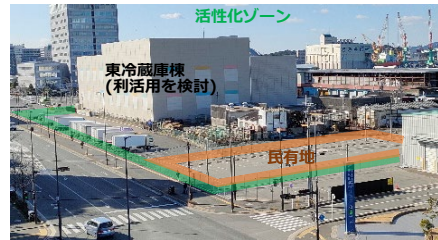


多種多様な魚種

### (2) 活性化ゾーン全体（移転後の東冷蔵庫棟の活用方策等、市主体で検討）

#### ①民間アイデア募集（令和3年9月～）

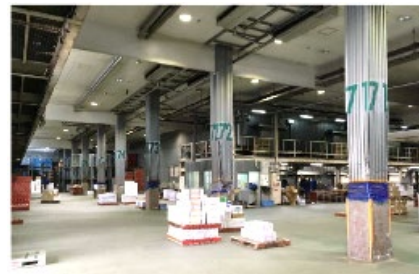
- ・魚食普及や立地特性等を踏まえた活用アイデアや東冷蔵庫棟の利活用の可能性等について、事業実施に意欲のある事業者を対象に公募によりヒアリングを実施。
- ・現時点の参加企業は17社。



活性化ゾーン（全景）

#### ②主な意見

- ・市場に直結した水産物の飲食・物販拠点は、魚の美味しいまち福岡の新たな魅力となる。
- ・市場ならではの飲食、買い物体験など市場関係者との連携が期待できる。
- ・魚だけでなく、魚食普及と相乗効果を生む機能を導入し、集客力を高めることが重要。
- ・建物特性を活かした飲食や物販拠点として、利活用（リノベーション）の可能性は十分あるが、事業実施には改修費に見合う導入機能の検討や、官民の役割分担が必要。



東冷蔵庫棟1階（階高約8m）

### (3) 今後の取組み

#### ○先行事業について

- ・活性化の取組みの第一弾として、魅力ある施設となるよう、令和5年度中の開業を目指し、市場関係者と連携しながら取組みを進める。

#### ○活性化ゾーン全体について

- ・冷蔵庫のリノベーションは前例が無く、実現性の検討が必要であり、引き続き、民間活力の導入を視野に、事業に係る条件などヒアリングを進める。
- ・先行事業の具体化、及び東冷蔵庫棟の利活用に関する検討状況を踏まえ、民間事業者のアイデアを参考にしながら、市場関係者との協議を進める。
- ・新東冷蔵庫棟への移転後、速やかに工事等に着手できるよう、事業スキーム等活用方策の検討を進める。